

特集

まちの顔を、もう一度取り戻したい

失われた風景を、「再び人が集い、笑顔が戻る商店街へ」



▲竹原ライオンズクラブ寄贈のモニュメントの前で

《特集後記》

瓦礫の撤去が終了した現場で今市理事長に取材させていただきました。発災当時は、ここまで大きな被害になるとは思わなかったそうです。

しかし、見えていなかった箇所では火の手が広がり、13戸に被害が及ぶ大災害となりました。市と議会には通常対応でない専決での「ガバメント・クラウド・ファンディング」(GCF)を実施していただいたことや、竹原DMOには民間ならではの迅速な対応で手厚いサポートをしていただいたとのこと、非常に感謝しておられました。また、多くの応援メッセージには涙が出るほど感動し、この恩を返すには商店街を再生することしかないと力強く語られました。しかしながら、GCFが目額に達成していませんので、引き続きしっかりとPRしていきますとのことでした。

7月5日の七夕まつりは、規模を縮小してでも開催するべきだという若い理事の声が後押しとなり、瓦礫撤去も一段落し、無事開催することができ、多くの家族連れでにぎわいました。

被災した場所の今後の展開としては、地権者との調整をしながら、若い人の意見を取り入れ、また会議体としては市内外問わずメンバーを集め、多様な意見や斬新なアイデアによって未来へ向けた再生の道を検討していきたいとのことでした。

取材して感じたことは、災害の恐ろしさは勿論ですが、空き店舗などの管理の難しさや商店街そのものの存在価値や在り方についてなど、前例にとられない柔軟な発想での取組が必要だと感じました。

堀越 賢二

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP 竹原市議会



次回定例市議会は、9月上旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

連日の猛暑、みなさんほどのようにお過ごしですか。適切な水分・塩分の補給、日陰での休憩など健康管理に取組まれておられると思います。

気象庁は7月1日、国内の6月の平均気温が平年を2.34度も上回り、1898年の統計開始以来、最高記録を更新し、上層で中国大陸のチベット高気圧、下層で太平洋高気圧が日本付近に張り出し、35度以上の猛暑日になるところが続出すると報じています。この様な気温の上昇が洪水、熱帯低気圧、森林火災、沿岸浸水など自然災害に及ぼす影響は深刻です。

年々気温が上昇していますが、自然の出来事だからと、このまま放置することはできません。被害を減らすためには温室効果ガス排出削減努力が緊急に必要なだと科学者は警告しています。人間・社会活動がもたらした異常気象は人間が解決するしかありません。

松本 進

「広報広聴委員」○委員長 ○副委員長

○村上まゆ子 ○今田 佳男

○蕎麦田俊夫 堀越 賢二

宇野 武則 松本 進